

## (1) SPOD共通事業

### ① SPODフォーラム

日 時：令和3年8月25日（水）～27日（金）  
開催方法：オンライン  
主催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）  
全体テーマ：「New Normalの大学教育を考える」  
参加費：SPOD加盟校の教職員 無料  
SPOD加盟校以外の教職員 10,000円  
申込者数：572名（延べ1,753名）

### SPODフォーラムとは

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD・SDプログラムならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場

### 特徴

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

### 実施内容及び成果

あらゆる立場の教職員が、その場でのスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供することを目的として、8月25日～27日の3日間、「SPODフォーラム2021」を開催した。今回はコロナ禍により全面オンライン開催とし、主催校である高知大学を中心に、徳島大学、香川大学、愛媛大学が共同で運営にあたった。今回で12回目となる本フォーラムでは、32の研修プログラムの開講に加えて、シンポジウム、情報交換会、オンデマンド・セッションを実施した。本フォーラムでは、全体テーマに「New Normalの大学教育を考える」を掲げ、過去のアンケートに寄せられた参加者からの要望や時代のニーズ等を考慮しつつ、テーマに関連したプログラムを始めとした多種多様なプログラムを提供し、参加者それぞれの立場ごとに、自身が何を身につければよいのかを考える契機とした。

シンポジウムでは、「コロナ後の世界／大学教育はどう変わっていくか？」をテーマに、大森昭生氏（共愛学園前橋国際大学）、喜久里要氏（早稲田大学）、佐藤浩章氏（大阪大学）の3名のシンポジストによる講演の後、岩崎貢三氏（高知大学）を指定討論者に交え、ディスカッションや質疑応答が行われた。参加者からは、「「気づき」を促し、いままで当たり前だと思っていたことを見直す意識付けができた」「地域や規模の異なるさまざまな先生方から、具体的で先進的な情報をいただくことができた」「これまで大学が抱えていた課題が、アフターコロナに一気に具体化すると思われるので、その方向性が見えてきた」「先行きが見えない中、現在の取組の是非を考える参考になる情報が得られた」「学校の改革がどのように進められるべきか、カリキュラムの面、組織の面、いろいろな視点から考えることができた」「日常業務での「気づき」を放置せず、改善につなげる努力が必要と理解した」等のコメントがあった。シンポジウムの講演記録は99～123ページに掲載している。

大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力を高めるこ



とを目的とした「トップライダーセミナー」は、

2名の講師によって2コマ開講された。「学位プログラムをいかにマネジメントするか」では、学位プログラムのマネジメントに関するポイントや課題について、グループディスカッションも交えて参加者全員で考える機会を提供した。受講者からは、「時代や環境に合わせて変わっていくために、学部という組織のマネジメントについて学べたのは非常に良い経験だった」「ステークホルダーを教育改革にどうやって巻き込むかを実践されたお話に感銘を受けた」等のコメントがあった。2コマ目の「大学組織を動かす力を理解する」では、大学組織の特徴を理解し、

所属組織の文脈に合った提案をする準備につながる研修となった。受講者からは、「普段無意識にやろうとしていること、周囲で起こっていることを、客観的視点で整理、考えることができた」「組織全体を捉える視点を学んだ。沢山の視点がある一方、人間関係の大切さも痛感した」等のコメントがあった。

開催期間中は、これまで本フォーラムで実施していたポスターセッションに代わり、オンデマンド・セッションを実施した。掲示板アプリケーションを使用し、動画の閲覧及び質疑応答を行うことができ、加盟校外から17組（うち発表代表者の所属が加盟校14校、加盟校外3校）の取組発表があり、各校のFD・SDの取組に関する意見交換が行われた。

本フォーラムには全国各地から、572名（延べ1,753名）の申し込みがあり、約65%が加盟校からの参加者であった。フォーラム終了3週間後からWeb回答形式で実施した事後全体アンケートでは、回答者の約99%から「満足」の評価を得るとともに、知識やスキルの習得、業務等への積極的な取組等の各項目で、約90%が肯定的回答をする結果となった。

次回の「SPODフォーラム2022」は、愛媛大学を主催校とし、今年度に引き続きオンラインでの開催を予定している。



SPODフォーラム2021の受講者数について（プログラム別）

日時	番号	プログラム名	講師	受講者数	内訳			SPOD内	SPOD外
					教員	職員	その他		
8月25日(水) 1時限	2501A	ルーブリック評価入門 ～考える、つくる、活用する～	俣野 秀典	47	33	14	0	13	34
	2501B	テキストマイニング入門	塩川 奈々美	47	31	15	1	30	17
	2501C	これだけは押さえたい遠隔授業の基礎	藤澤 修平	93	87	6	0	64	29
	2501D	中堅職員のための後輩指導 –理論と実践方法–	竹中 喜一	43	2	41	0	15	28
8月25日(水) 2時限	2502A	大学から地域の元気を応援する取組 ～地域連携の種まき実践例～	三戸 里美	28	15	13	0	10	18
	2502B	パフォーマンス評価のための課題の作り方	飯尾 健	48	46	2	0	25	23
	2502C	教職員のための「事例から考えるハラスメント」～"ニューノーマル"に改めて考える～	末本 美千代 吉田 一恵	39	22	17	0	27	12
	2502D	事例で考える教職課程における 多様な履修相談対応	小野 勝士	89	13	76	0	31	58
8月25日(水) 3時限	2503A	学生支援に関わるカウンセリング入門	杉田 郁代	46	25	21	0	29	17
	2503B	若手職員向け超入門！ 研究者と学術情報流通	井上 昌彦	33	8	25	0	18	15
	2503C	e-Learningによる数理・データサイエンス教育	林 敏浩	62	50	12	0	27	35
	2503D	カリキュラムの編成方法	中井 俊樹	48	24	24	0	18	30
8月26日(木) 1時限	2601A	若手職員のためのタイムマネジメント入門	井上 慎二	23	4	19	0	8	15
	2601B	理工系授業における発問を中心にしたクラスデザイン	榊原 暢久 吉田 博	15	15	0	0	2	13
	2601C	学生との関係から考える教職員の倫理	上月 翔太	49	31	18	0	26	23
	2601D	業務の見直しと改善 -ジョブ・クラフティング概念とECRSを用いて-	村山 孝道	25	5	20	0	12	13
8月26日(木) 2時限	2602A	トップリーダーセミナー 「学位プログラムをいかにマネジメントするか」	山本 啓一	48	24	24	0	15	33
	2602B	オンライン授業でアクティブラーニングに挑戦しよう	金西 計英	25	25	0	0	25	0
	2602C	オンデマンド研修 PowerQuery for Excel を用いた効率的なデータ処理	高畑 貴志	98	52	46	0	56	42
	2602D	教務関連法規の考え方と根拠の活かし方	宮林 常崇	49	5	44	0	18	31
8月26日(木) 3時限	2603E	シンポジウム「コロナ後の世界/大学教育はどう変わっていくか？」	大森 昭生 喜久里 要 佐藤 浩章 指定：岩崎 貢三 司会：塩崎 俊彦	278	150	127	1	153	125
8月27日(金) 1時限	2701A	「学生が育つ」ゼミの作りかた	豊田 義博	52	46	6	0	23	29
	2701B	地域連携担当者のための合意形成術講座	前田 眞	20	10	10	0	11	9
	2701C	遠隔授業の強みを最大化する授業設計とは	仲道 雅輝	29	29	0	0	17	12
	2701D	SD担当者研修 -New Normal時代に対応するために-	吉田 一恵 葛西 崇文	25	5	20	0	9	16
8月27日(金) 2時限	2702A	トップリーダーセミナー 「大学組織を動かす力を理解する」	中島 英博	25	15	10	0	11	14
	2702B	若手職員のためのリーダーシップ入門	井村 公一	29	5	24	0	8	21
	2702C	Blended Learningで活用できるグループワークのアイデア	村田 晋也	35	33	2	0	26	9
	2702D	大学設置認可申請入門	長山 琢磨	49	4	45	0	7	42
8月27日(金) 3時限	2703A	学生と職員の協働へ -ピア・サポートの理論と実践から-	佐々木 菜々	28	9	19	0	8	20
	2703B	面談に役立つアカデミック・アドバイジングの技法	清水 栄子 小林 忠貞	46	29	17	0	24	22
	2703C	大学教職員のためのZoom百物語	石井 知彦	136	73	63	0	97	39
	2703D	これからの社会と大学をつなぐSDGs	塩川 雅美	46	25	20	1	21	25
合計				1753	950	800	3	884	869

SPODフォーラム2021 オンデマンド・セッション発表校・テーマ一覧（敬称略・所属五十音順）

No	テーマ	代表発表者		SPOD 加盟校	共同発表者	
		所属	氏名		所属	氏名
1	留学生を対象とした日本語オンライン授業の実践と成果	愛媛大学 国際連携推進機構 国際教育支援センター	田代 桜子	○	—	—
2	FD・SDのオープン教材の現状と課題に関する考察	愛媛大学教育・学生支援機構	竹中 喜一	○	—	—
3	古典教育における大学の役割をめぐる論点整理	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	上月 翔太	○	—	—
4	遠隔による準正課教育プログラム実施の試みについて	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	村田 晋也	○	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	仲道 雅輝
					鹿児島大学総合教育機構 キャリア形成支援センター	浅田 隼平
5	オンライン授業の新展開—オンデマンド型補充タイプ—	高知県立大学文化学部	井上 次夫	○	—	—
6	オンデマンド型授業でのアクティブラーニング授業モデルの開発	高知大学大学教育創造センター	杉田郁代	○	—	—
7	高知大学におけるTA・SA講習のオンライン化の試み	高知大学大学教育創造センター	高畑 貴志	○	高知大学大学教育創造センター	塩崎 俊彦
					高知大学大学教育創造センター	杉田 郁代
8	オンライン環境における協同学習の実践	高知大学地域協働学部／大学教育 創造センター	俣野 秀典	○	—	—
9	地域協働によるコミュニティ醸成型の実習	高知大学地域協働学部	玉里 恵美子	○	高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 地域協働学専攻	仲田 和生
10	PBL型授業の2年目から見えたFDerとの協働の重要性	四国大学看護学部	大串 晃弘	○	愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室	上月 翔太
11	ポストコロナ時代のICT駆動型自己評価ルーブリック開発	実践女子大学短期大学部 日本語コミュニケーション学科	大塚 みさ	○	実践女子大学短期大学部 日本語コミュニケーション学科	三田 薫
					実践女子大学生生活科学部 食生活科学科	白尾 美佳
					実践女子大学教職センター	清田 夏代
					実践女子大学文学部 国文学科	深澤 晶久
					実践女子大学生生活科学部 食生活科学科	松島 照彦
12	New NormalのFDセミナー開発	徳島大学高等教育研究センター	吉田 博	○	徳島大学高等教育研究センター	飯尾 健
					徳島大学高等教育研究センター	塩川 奈々美
13	徳島文理大学の推薦入試におけるオンライン面接の実践	徳島文理大学教務部教務課	藤本 正己	○	徳島文理大学教務部教務課	松山 隆博
14	ニューノーマルな実習指導	徳島文理大学保健福祉学部	宮原 和沙	○	徳島文理大学保健福祉学部	桃井克将
15	授業AL度と学生のAL授業参画度の関係	徳山大学福祉情報学部	中嶋 克成	○	徳山大学経済学部	寺田 篤史
16	Practical Team Teaching video examples	鳴門教育大学教育学部	Gerard Marchesseau	○	—	—
17	スムーズに遠隔授業に移行できる対面授業体制の構築	北陸大学医療保健学部	關谷 暁子	○	北陸大学高等教育推進センター	杉森 公一

◆オンライン授業に関する参考動画

動画提供：北陸大学経済経営学部 山本 啓一 教授

1. 研究室のオンライン授業用機材環境
2. 教室での授業収録方法

オンライン授業の機材や収録方法についての動画を2本、北陸大学経済経営学部教授の山本啓一先生よりご提供いただきました。発表動画と合わせてぜひご覧ください。